

大分南警察署協議会

第3回会議の開催状況

第1 開催月日

令和5年12月21日（木）

第2 出席者

公安委員

協議会 委員 10名

警察署 署長、副署長、地域交通官、総務課長、会計課長、地域課長、刑事課長、
交通課長、警備課長、湯布院幹部交番所長、大南幹部交番所長 11名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・管内情勢及び業務推進状況
- ・令和6年度速度取締り指針

の説明がなされた。

2 諮問事項に対する意見等

(1) 高齢者を守る特殊詐欺被害対策について

ア 委員から「警察署に、特殊詐欺のメールが入ってきたと届け出たら、特殊詐欺被害防止の役に立つか。また、その届出をメール転送できる窓口があれば、警察署に出向かずに役に立てるのでは」旨の意見がなされ、警察署から「警察に届け出てもらおうと防止に役立たせることができる。メール転送はできないが、警察署だけでなく、交番、駐在所等でも届出を受付できる」旨の説明がなされた。

イ 委員から「特殊詐欺被害防止コールセンターについて、「050」等知らない電話には出ない人が多いので、被害防止を伝えられないのではないか」旨の意見がなされ、警察署から「貴重な意見として参考にさせていただく」旨の説明がなされた。

ウ 委員から「詐欺グループの成功率はどの位か。また、詐欺グループはターゲットを絞っているのか」旨の質問がなされ、警察署から「成功率は不明である。詐欺グループは、様々なリストを入手して手当たり次第に電話している」旨の説明がなされた。

エ 委員から「大分南署管内での被害は、1件あたりにすると約150万円程度になるが、犯人はその位の金額以上を要求するのか」旨の質問がなされ、警察署から「金額の大小ではなく、支払えるだけだまし取るケースもある」旨の説明がなされた。

オ 委員から「ATM振込による被害では、金額によって騙されない場合があるのか」旨の質問がなされ、警察署から「金額によって騙されない場合があるかは不明である。被害者にATMを操作させ、金額の数字を入力していると気づかせないようにして騙す手口がある。最悪の場合、全額振り込んでも被害者は気づかないこともある」旨の説明がなされた。

カ 委員から「特殊詐欺被害防止機能付き電話機の申請が172台ということだが、早く申請しないと補助は出ないのか。」旨の質問がなされ、警察署から「補助金の予算次第となる。例えば、現在、由布市からの補助は5000円で、210台分の補助が出るが、機種によって値段が違うため、安価な電話機の購入が多ければ補助できる台数は増えるかもしれない。申請件数が多ければ、来年度予算の増額等について、行政機関へ要望として申し入れしたい」旨の説明がなされた。

キ 委員から「自宅に特殊詐欺被害防止付き電話機を設置しているが、効果は確かにあると感じている」旨の意見がなされ、警察署から「自動音声がかかること等により、被害のリスクは低くなる」旨の説明がなされた。

ク 委員から「民生委員への講話の目的は何か」旨の意見がなされ、警察署から「民生委員会で警察官が講話し、民生委員から高齢者へ啓蒙してもらうことがねらいである」旨の説明がなされた。

更に、委員から「講話では、手口を示した資料を準備した方が効果があるのでは。また、被害に遭ったことを他の人に知られたくないと思う方も多いため、民生委員から被害に遭っていないか聞いてもらってはどうか」旨の意見がなされ、警察署から「参考にし、民生委員と情報共有したい」旨の説明がなされた。

ケ 委員から「検挙も防止に繋がると考える」旨の意見がなされ、警察署から「そのとおりである。ただし、詐欺グループの末端の犯人を検挙することはあるが、上層部までの検挙に繋がらないことが多い。そのため、防止にも力を入れる必要がある。」旨の説明がなされた。

コ 委員から「特殊詐欺被害の27人のうち、大分市と由布市の内訳はどうなっているか」旨の質問がなされ、警察署から「大分市が19名、由布市は8名となっている」旨の説明がなされた。

サ 委員から「大分市では、ライフパルという、様々な教室の講師派遣申請を受けており、10人以上いけば、見合った講師を派遣する制度があるため、活用もできるのではないか。また、由布市で特殊詐欺被害に遭った人は8名とのことであるが、届け出ていない人もいるかもしれない。」旨の意見がなされた。

(2) 高齢者を守る交通事故対策について

ア 委員から「講話を受けていても、信号無視してしまう人がいるように感じる。シミュレーターを利用する等して、自分自身の反応速度等を認識してもらうことが効果的ではないか」旨の意見がなされた。

イ 委員から「高齢者は、視力が落ちてきている方も多いため、道路の表示が薄くて見えにくい箇所があるので、改善できないか」旨の意見がなされ、警察署から「道路標示が消えている等の情報があれば、交通課で確認し、適宜対応するようにしている」旨の説明がなされた。

ウ 委員から「道幅の広い道路は、高齢者では渡りきれないことがある。信号が黄色でも停車しない車があるため、危険に感じる事がある」旨の意見がなされた。

エ 委員から「もっと反射テープを配ったらどうか」旨の意見がなされ、警察署から「講習では配っているが、それ以外でも配るようにしたい」旨の説明がなされた。